

令和元年の火災・救急・救助概況



火災

区分		令和元年	平成30年	増減
火災件数合計(件)		115	135	▲20
火災種別	建物火災(件)	54	54	0
	うち住宅火災(件)	27	33	▲6
	林野火災(件)	6	5	1
	車両火災(件)	10	11	▲1
	その他の火災(件)	45	65	▲20
死者(人)		4	5	▲1
うち住宅火災(人)		3	3	0
負傷者(人)		10	11	▲1

▲は減少を示します。令和元年中の数値は速報値です。

令和元年中に市内で発生した火災は115件で、前年に比べ20件減少しました。火災の種別でみると、建物火災は54件で、そのうち住宅火災は27件でした。また、火災による死者は4人で、うち3人は住宅火災によるものでした。



住宅火災の中には住宅用火災警報器が働き、早期に消火を行うことで大事に至らなかった事例がありました。大切な命と財産を守るためにも住宅用火災警報器を設置し、維持管理しましょう。

救急

区分		令和元年	平成30年	増減
出動件数(件)		15,899	16,445	▲546
搬送件数(件)		14,482	14,934	▲452
搬送人員(人)		14,607	15,078	▲471
主な事故種別	交通事故(件)	1,161	1,325	▲164
	一般負傷(件)	2,590	2,537	53
	急病(件)	10,100	10,430	▲330

▲は減少を示します。令和元年中の数値は速報値です。

令和元年中の市内における救急出動件数は1万5,899件で、前年に比べ546件減少しました。事故種別でみると、例年同様急病が最も多く、次いで一般負傷、交通事故の順でした。

前年と比較すると出動件数は減少したものの、過去10年を見ると救急出動件数は全体的に増加傾向にあります。救急車の適正利用にご理解とご協力をお願いします。

救急車を要請するか迷った場合には、三重県救急医療情報センター(☎229-1199)に相談してください。

救助

区分		令和元年	平成30年	増減
出動件数(件)		187	138	49
活動件数(件)		112	93	19
救助人員(人)		116	96	20
主な事故種別	火災(件)	1	2	▲1
	交通事故(件)	82	71	11
	水難事故(件)	17	8	9
	建物等による事故(件)	53	30	23

▲は減少を示します。令和元年中の数値は速報値です。

令和元年中の市内における救助出動件数は187件で、前年に比べ49件増加しました。救助出動のうち交通事故が82件で最も多く、全体の43%を占めました。

また、近年、増加傾向の建物等による事故は53件発生しており、前年に比べ23件増加しています。その多くは、高齢者が建物内に居るはずだが、中に入れないので確認ができないといった内容でした。離れて暮らす家族の安否確認をお願いします。

問い合わせ 火災 予防課 ☎254-0356 FAX 256-7755

救急 消防救急課 ☎254-1600 救助 消防救急課 ☎254-1601 いずれも FAX 254-1607